

花かがみ

HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 肇 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-0005 名古屋市中区東横2-18-13 tel. 052-501-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

'20 5

名古屋園芸



クレマチス「白王冠」(はくおうかん) 画/植田由喜子

深い青紫色の花弁と花芯の白黄色のコントラストが美しい早咲きの大輪種です。四季咲き性が強く花付きがとってもよい、魅力的な品種です。紫系の代表的銘花として世界中で愛されています。



カンタンに楽しもう



カンタンハーブを育てよう

～ルーツポーチを使った楽しみ方～



⑥ ミントはとにかくカンタンに育てることのできるハーブのひとつ。ミントの種類によって葉っぱのかたちも様々。見た目も楽しめてフレッシュハーブとして料理にも楽しめるいいことばかりのハーブです。



⑦ ラベンダー タイムの寄せ植え
花も楽しめて香りも楽しめるハーブのいいところ。ラベンダーもタイムもいろいろと種類が豊富で香りも様々。香りをヒントにハーブを探してみるとより楽しみが増えますよ。お好みの香りのハーブ探してみてください。

とにかくカンタンに何か育ててみたい。しかもかわいく、カッコよく、それをかなえてくれるのがハーブのみなさんです。またそれが手軽に料理に使えるなんて。いいことばかりの植物です。

多少気難しいハーブもありますが、ミント、ローズマリー、パセリ、バジルなどカンタンに育てることのできるハーブはたくさんあります。

好きな時に好きな分だけフレッシュなハーブが手に入るのは、自宅で育てているからこそそのメリット。そして収穫するためだけに育てるなんてもったいない! せっかくなので育てるのだから、オシャレにかわいく、カッコよく育てたいですね! そこでお勧めしたいのがルーツポーチ。この春は、ルーツポーチを使ったハーブづくりをぜひ楽しんでいただきたいです。

ルーツポーチはリサイクルペットボトルとリサイクル天然素材をミックスして作られた不織布製の環境にも優しい植木鉢。軽量で持ち手が付いているので移動も楽々。壁や手すりなどに吊るすこともできるので、置く場所がないという方にもスペースを有効活用することが可能です。通気性や排水性が良いため、商品名にもなっている根(Root)の張りが良く、植物をじっくりしっかり育てます。カラーパリエーションやサイズも豊富なので、自分好みのカスタマイズも楽しむことができます。

「かわいく、カッコよく、カンタンに」というテーマをかなえてくれるのがルーツポーチです。

ルーツポーチの活用方法は多種多様です。もちろん花の植木鉢としてもお使いいただけます。異なるサイズを並べて置いてもオシャレですね。鉢としてだけではなく、鉢花や観葉植物の鉢カバーとしてもお使いいただけます。

植え方や育て方がわからない、初めて植物を育てる、なんでもお気軽にスタッフにおたずねください。ボリュームいっぱい育てるポイントをアドバイスいたします。

information

シダコレクション
5月16日(土)～31日(日)



「日陰に強い」が代名詞であるシダ植物。一口にシダとは言っても、葉の色や質感、形や姿など、種類によってその特徴は様々。個性豊かなシダ植物達は今やインテリアプランツとしても人気を高めています。そんな要注目目のシダ植物の中から、名古屋園芸のバイヤーがオススメの品種を集めたシダコレクションは5/16～5/31まで開催予定です。展示並びに即売も行いますので、お気に入りの植物が見つければぜひ家に連れ帰ってあげてください。



花の博物館 第292回

花物之生写・カキツバタ

伝・田中訥言(一七六七～一八二三) 写本
巻子装、巻末に「訥言」「癡翁」の二印あり

今年度NHK Eテレ、「趣味の園芸」番組の特別シリーズ「万葉集の花」第三回目。カキツバタ図は、忠実に描かれていると思う。右図は現在も実在する六英咲き、左は普通種であろう。この画面の次に白花種も描かれている。この作品が、田中訥言とすれば、彼の代表作「百花百草図屏風」一雙、徳川美術館蔵の元となる写生図の一部とも考えられる。現に、屏風にはカキツバタは、青紫種、白花種(共に三英種)が描かれている。作者の真偽は別に論ずるとして、万葉集には、かきつばた 衣に摺りつけ 丈夫のきそひ侍する 月は来にけり (巻十七・三九二) 大伴家持 すゝめ 住吉の 浅沢小野の かきつばた 衣に摺りつけ 着む日知らずも (巻十七・三六一)

*注 万葉集現代本の多くは、かきつばたを杜若の字を当てての記載が多いが、杜若はハナミョウガを指し、アヤメ科のカキツバタに当てるははまったくの誤用ですので注意したいものである。

香りのバースデーフラワー

～ライラック～



④ ナチュラルアレンジ ¥5,000+税



⑤ ライラックのフレグランスブーケ ¥4,000+税

新緑が日にあざやかに映る季節になりました。そんな5月におすすめのバースデーフラワーにライラックはいかがでしょう。

ライラックとは、ヨーロッパを原産とするモクセイ科・ハシドイ属の落葉樹で、高さ1～6mほどまで成長し、花弁から放つ甘い優しい香りが特徴です。香水やアロマオイルの原料としても利用されています。

春〜初夏にかけて、紫や白色の花を小さくまとまって付けます。花弁ひとつひとつは小さいですが穂のようになつて咲く姿がとてもかわいらしく印象的です。開花期が長く、寒さにも強い性質から、北国でも育てられる花木として親しまれています。

原産はヨーロッパ東南部で16世紀半ばに西ヨーロッパに持ち込まれ、現在ではヨーロッパ全体に広がっています。

日本にやってきたのは明治23年(1890年)で北海道に持ち込んだ苗木が最初と言われています。和名のムラサキハシドイ(紫丁香花)は「端に紫」から転じた名前です。花が枝先に集まって咲くことから名づけられたようです。

花色は白、紫色、藍色、紅色、ピンク、マゼンダなど様々。一重咲きや八重咲のものもあります。また、ライラックの花はハート型をしていて、フランスでは白いライラックは青春のシンボルとして親しまれています。そこから「友情」「大切な友達」などの花言葉が生まれました。

今月は大切な相手に贈ると喜ばれる花、ライラックがおすすです。

⑥ ライラック&フラワーベース ¥3,000～+税